

2016年4月1日

2016年度入社式(社長挨拶要旨)

富士通テン株式会社(本社:兵庫県神戸市 代表取締役社長:山中 明)は、グループ全体で77名の新入社員を迎え、本日午前9時から本社にて2016年度入社式を行いました。社長挨拶の要旨は下記のとおりです。



社長挨拶の様子

● 「誠は天の道なり」

「誠は天の道なり」。当社の社是です。社名に付けた「テン」というのは富士通テンの源流である川西機械製作所の初代社長が商標として制定したものです。「テン」は最高/至上を意味する「天」であり、「商売は誠実に」「商品は至高無上のものを作ろう」という想いが込められています。私たちは「誠」を大切にして働き、お客様/社会に貢献します。是非この社是を胸に刻み、これから仕事に取り組んでほしいと思います。

● グローバル企業として成長

みなさんは、川西機械製作所の創立から96年、富士通テンの設立から44年を迎えた、歴史と伝統ある会社に入社されました。

当社グループは現在、設立当初(1972年)と比べて売上で84倍、人員で11倍、世界で1万名以上の従業員を抱えるとともに、全世界で18カ国72拠点を構えるまでに拡大、さらに海外売上比率が50%、海外生産比率が80%を超えるなどグローバル企業として成長を遂げています。

また、この長い歴史において2人のノーベル物理学賞受賞者を輩出していますが、このような会社は他にはありません。

《2頁に続く》

● 快適・利便、安心・安全、環境、3つのドメインをベースに Vehicle-ICT を実現

自動車産業は全体的には堅調に推移することが予想される成長産業です。技術の進歩も目覚ましく、2020年頃にはほとんどのクルマがネットワークにつながれ一部では自動運転という世界が現実のものとなりそうです。私たちはそのような大きなうねり、技術革新の真っ只中で事業を展開しています。しかし、新規参入も含め競合他社との競争は熾烈を極めています。常に最先端の技術に取り組み、それを商品として形にしていかなければ勝ち残ることができません。

当社では、このような熾烈な競争を勝ち抜くため、「VISION 2022」の中で「人とクルマ、社会とクルマをつなぎ、自由で快適なモビリティ社会の実現に貢献する。」と目指す姿を定めています。

具体的には、快適・利便、安心・安全、環境、3つのドメインをベースに Vehicle-ICT を実現していくという考えです。

● 受け継がれる最先端の技術/商品を世に送り出す DNA

当社はこれまで常に最先端の技術をベースに最先端の商品を世に送り出してきました。世界初の商品もいくつか生み出してきました。2014年の秋には、クルマとクラウドがつながる世界を「**Future Link**。(フューチャーリンク)」というコンセプトで発表し、2015年はそのコンセプトを具現化した商品も発売することができました。長い歴史を通じ、最先端の技術/商品を世に送り出すというDNAが受け継がれていると言えます。

今後は、クラウドに蓄積されたビッグデータとの連携によるカーナビゲーションシステムなどマルチメディア製品を進化させた次世代情報システム、ミリ波レーダーやカメラなどのセンサを活用した先進運転支援システム、そして、制御系 ECU を中心としたパワーマネジメントシステムの実現を目指したいと考えています。

● 我々の仲間として一緒に挑戦を続け、共に未来を切り拓いていきましょう

最後にみなさんへの期待です。

自分で考え自分で答えを見つける。そして自ら行動する。言われたことだけをすれば良いわけではありません。

そして、仕事を通じて一人ひとりがお客様/パートナー様から信頼される。仕事そのものが信頼され商品が信頼される。それが会社の信頼につながり富士通テンという会社が社会から認められ信頼を得て仕事を続けることができる。このサイクルの担い手となってください。

歴史と伝統ある富士通テンで、我々の仲間として一緒に挑戦を続け、共に未来を切り拓いていきましょう。

みなさんのフレッシュな発想とそれに伴う行動力に大いに期待しています。

以上